

# CRUISE ASSIST HARNESS TYPE-A

## クルーズアシストハーネス アクセル運動タイプ(Aタイプ)

この度は弊社製品クルーズアシストアダプターAタイプをお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。  
本製品は 今までスイッチ操作にておこなっていた 車両のオートクルーズの開始、復帰操作を自動化する製品です。  
製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。  
取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合は当社ホームページ上の取り扱い説明書をダウンロードして取り付け、調整をおこなって下さい。

### ⚠警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 本製品は車両の純正オートクルーズを補助する製品です。本機能を過信せずドライバーの自己責任にてご使用下さい。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品はオートクルーズの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合が考えられます。取り付け、使用には十分慎重に取り扱い下さい。なお、何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えません。

### ⚠注意 または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこない専門の業者に必ず依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温もしくは水のかかる場所に設置しないで下さい。また製品を落下させたり衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 電子制御に関わる部分です。接続位置、接触不良が無いように慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

### ⚠注意

- 本製品はスロットルブースターのオプションです。使用するにはスロットルブースター本体が必要です。
- オートクルーズの操作、動作条件は車両により異なります。車両のオートクルーズの操作方法を十分に理解したうえでご使用ください。
- 後付け、社外品のオートクルーズには使用出来ません。取り付けは車両メーカー純正オートクルーズ装備車に限ります。

## ●製品の特長

- 車両のスタンバイスイッチを押すことにより、自動的にオートクルーズが作動します。(一部車)
- 純正オートクルーズはブレーキを踏んだ時点で一旦解除されてしまいます。オートクルーズを再度復帰させるにはボタン操作をする必要がありますが クルーズアシストを装着することによりボタン操作無しにオートクルーズの自動復帰が可能になります。

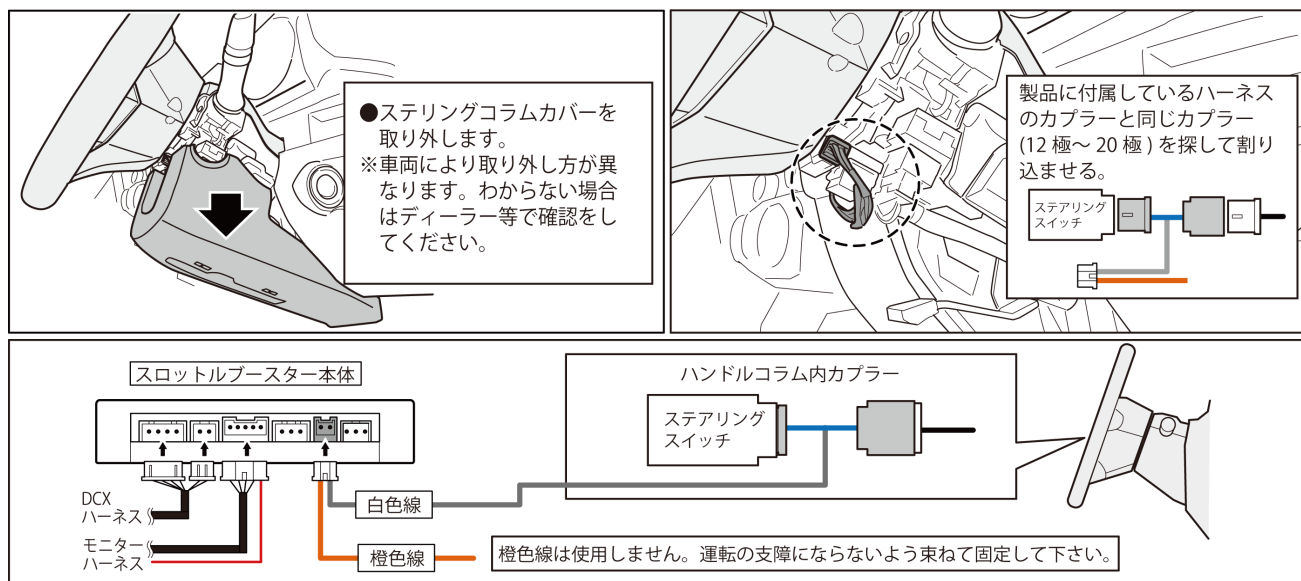
## ●製品内容

- クルーズアシストハーネス ●タイラップ(小)×4

## ●取り付け方法

### ⚠注意 ●エンジンを停止させ、エンジンキーを抜いてから10分以上たってから作業をおこなって下さい。

- ※車両のECU電源が完全にOFFになる前に作業をおこなってしまった場合エンジンチェックが点灯してしまいます。
- 取り付け作業はバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外すとアイドリング学習、その他設定が必要になります。
- 車両のオートクルーズ制御に関わる部分になるため、取り付けの際に接続位置を間違えたり、ショートさせないよう慎重に作業して下さい。
- 取付けで接触不良があるとチェックランプ点灯します。チェックの内容によってはディーラーの診断機でしかチェックランプを消去できない場合があるため慎重に作業をして下さい。



1. ステアリングコラムカバーを取り外します。  
※車両により取り外し方が異なります。わからない場合はディーラー等で確認をしてください。
2. 付属のクルーズアシストハーネスのカプラーと同じ車両側カプラーを抜き、クルーズアシストのカプラーを割り込ませます。  
※製品品番によりカプラーの極数が違います。付属のカプラーと同じカプラーを探してください。(12極～20極 白色または黒色のカプラー)
3. 本製品では橙色線は使用しません。テーピングして運転の支障のない場所に固定して下さい。
4. クルーズアシストハーネスの2極カプラーをスロットルブースター本体の指定の位置へ接続して下さい。

## ●設定方法

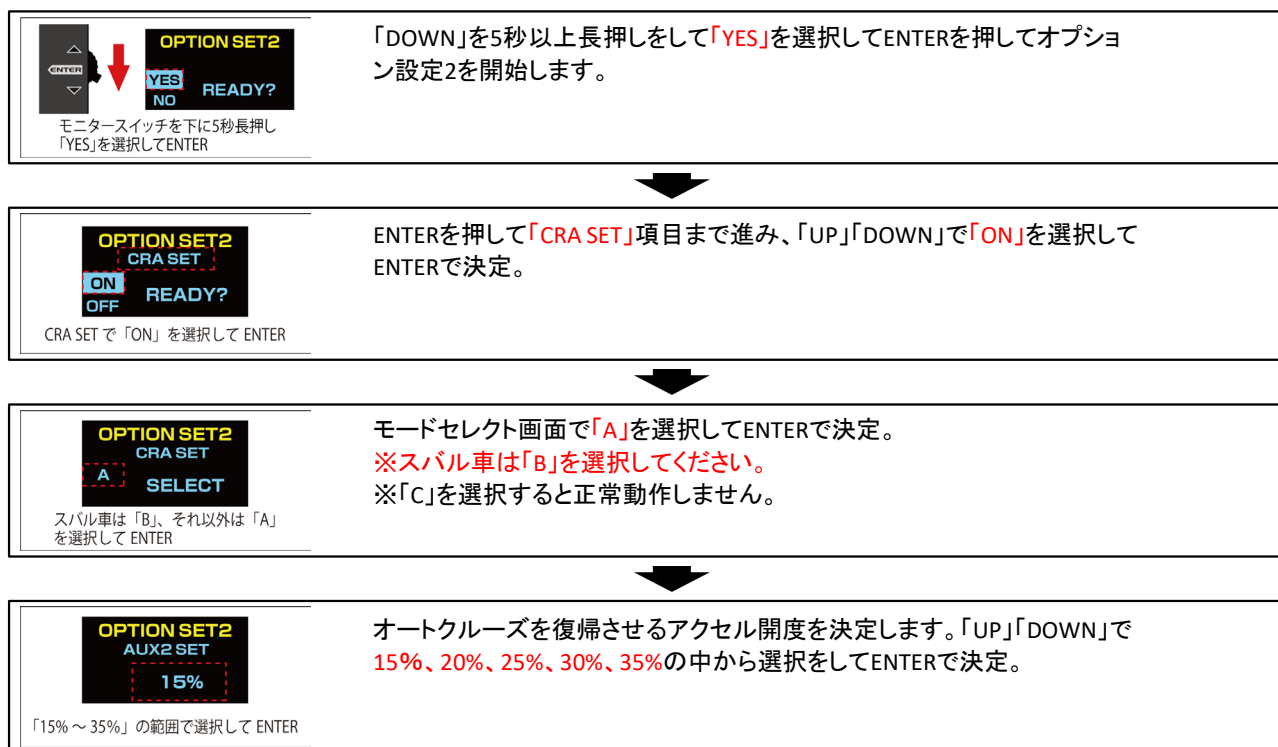


配線取付をすべて行った状態で設定を行って下さい。

走行中の設定変更は危険です。停車して作業を行って下さい。

※最初に設定をしないと使用できません。

※スロットルブースター本体を初期設定するとクルーズアシストの設定もリセットされます。その場合は再度設定をして下さい。



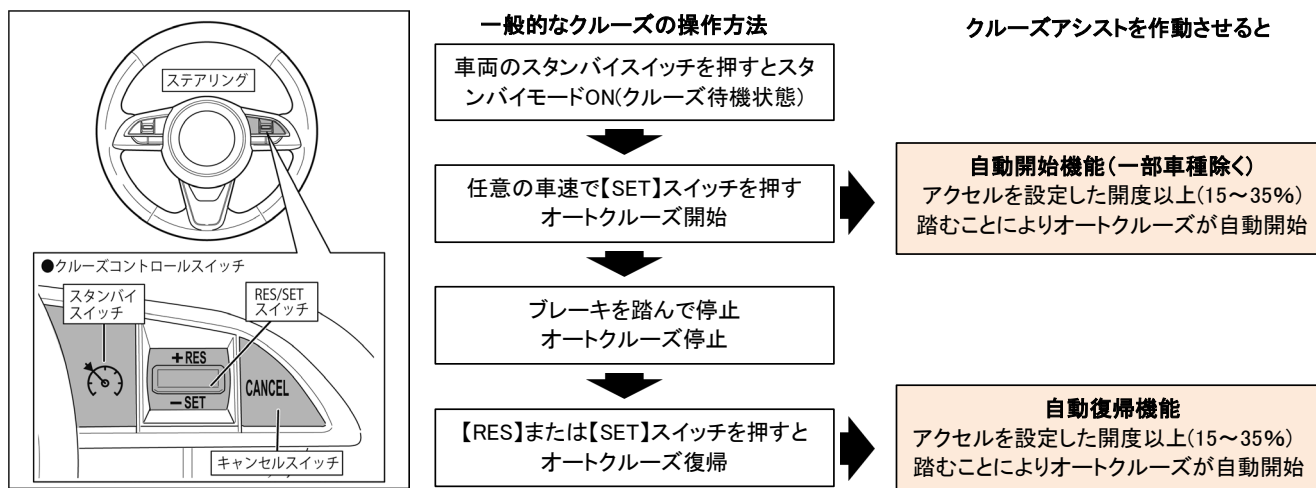
### ●クルーズアシストの復帰動作させるアクセル開度について

最初に15%に設定し、テスト走行をして20%、25%と設定値を上げながら好みの設定値を確認して下さい。

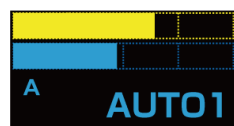
一般道でもオートクルーズを利用されている方は低いアクセル開度(15%)の方が効果が得られます。

### クルーズアシストの制御イメージ

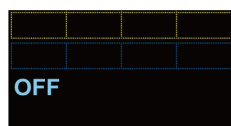
●クルーズアシストの制御イメージです。オートクルーズの開始・復帰の部分が自動化されます。



クルーズアシスト機能はスロットルブースター作動時に機能します。



作動中



非作動中

スロットルブースターが非動作時(OFF時)にはクルーズアシスト機能も作動しません。



セットされたオートクルーズをキャンセルしたい場合は通常の解除方法でキャンセルして下さい。

※ブレーキを踏むか車両のスイッチ操作(キャンセルスイッチ等)でキャンセルして下さい。



ご自分以外の方が運転をされる場合は、クルーズアシストの操作方法を十分に説明、理解のうえ使用して下さい。

## ●使用方法

**重要** オートクルーズの操作、動作条件は車両により異なります。  
 取り付ける車両のオートクルーズ操作方法を十分に理解したうえで、本製品をご使用下さい。  
 より安全にクルーズアシストを使用する為 狭い路地、車庫入れ等ではオートクルーズのスタンバイスイッチをOFFにして下さい。

**注意** クルーズアシスト機能はスロットルブースター作動時に機能します。

スタンバイスイッチを押す

メーターパネル内にクルーズの待機ランプが点灯

※車両により待機/動作のランプ表記は異なります

1 エンジン始動後に車両の「スタンバイスイッチ」(名称はメーカーごとに異なります)を押すとメーターパネル内にオートクルーズのスタンバイ(待機)ランプが点灯します。

アクセルを踏んで加速する

設定したアクセル開度(15%~35%)を越えると1秒後の速度でクルーズがセットされます

※車両により速度が遅すぎるとクルーズが動作しない場合があります

2 オートクルーズがスタンバイ状態でアクセルを15%~35%以上踏むとオートクルーズが自動セットされます。  
**【自動開始機能】**  
 ※車両によりオートクルーズの最低車速があります。それ以下の速度だとオートクルーズがセットされません。

ブレーキを踏んで停車する

クルーズが停止しクルーズ待機中の表示に変化

3 オートクルーズ作動中にブレーキングを踏むとオートクルーズは停止してスタンバイ状態になります。

アクセルを踏んで加速する

設定したアクセル開度(15%~35%)を越えると1秒後の速度でクルーズがセットされます

※車両により速度が遅すぎるとクルーズが動作しない場合があります

4 再度アクセルを15%~35%以上踏み込むとオートクルーズが自動復帰します。  
**【自動復帰機能】**  
 ※復帰するアクセル開度はTB側のオプション設定2で15%・20%・25%・30%・35%の中から選択出来ます。

### クルーズアシストをもっと有効に利用するポイント

オートクルーズにて走行中にアクセルの踏み直しをおこなうと、オートクルーズの設定車速を変更出来ます。この場合、踏み直した時点の設定になります。この機能を有効に使用し さらに快適なオートクルーズシステムとしてご利用下さい。

## ●トラブルチェック

**警告** 走行中などでエンジンチェックランプが点灯しエマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は、車両を安全な場所へ移動し一旦停車させ、エンジンを停止してしばらくしてからノーマル状態にして再始動させて下さい。

本製品使用時に不調等の症状やエンジンチェックランプが点灯する場合はノーマル状態へ戻して下さい。



### 【ノーマル復帰方法】

- オプション設定2の「CRA SET」でOFFを選択してENTERで決定して下さい。
- OFFにしても症状の改善がない場合はハーネスを取り外して完全なノーマル状態に戻して下さい。

### 【エンジンチェックランプ点灯、吹けあがらない】

- エンジンをオフにしても数分~10分程度、ECUやセンサーの電源が落ちない車両があります。その場合、電源が落ちる前にカプラーを抜くと信号断線のエラー感知してエンジンチェックが点灯します。
- カプラーが確実に取り付けできているか確認して下さい。

### 【点灯したチェックランプを消す方法】

- 正常な状態で【エンジン始動】⇔【1分間エンジン停止】を3~5回繰り返して下さい。ECUが正常と判断しエンジンチェックが消えます。
- 何度やってもエンジンチェックが消灯しない時はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエラー消去してください。